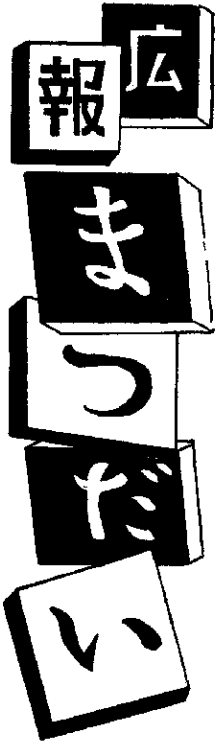


松代小学校改築完成さる



校舎建築のあらまし

- ◆設計者 山崎建築設計事務所
- ◆施工者 落又建設株式会社
- ◆第一期工事(本校舎) 鉄筋3階建 (昭和43年度)
 - 起工 昭和43年5月1日
 - 竣工 昭和44年3月10日
 - 入校 昭和44年3月14日
 - 延面積 2372㎡(約718坪)
 - 敷地面積 9.45㎡(約5.1K) × 64.4㎡(約32.2K)
 - 総費 8,102万円

◆第二期工事(体育館・渡りローカ) (昭和44年度)

- 起工 昭和44年5月1日
- 竣工 昭和44年9月30日
- 体育館 688㎡(約208坪)
- 渡りローカ 18m(約9.5K) × 32.4m(約17.5K)
- 経費 21,515,974円
- 渡りローカ 延面積 67㎡(約20坪)
- 経費 2,964,026円
- 建築総面積 3127㎡(約946坪)
- 総費 10550万円

感謝のことば



町長 秋山利作

このたび、町立松代小学校本館及び体育館落成式を挙行いたしましたことは、まことに同慶にたえないところでございます。

本校の建築は、明治六年でありまして、その後学区の児童数増加に伴いまして増築或いは一部の移築等もありましたが、既に老朽甚しく危険校舎として改築に迫られ建築の画策を重ねて、県関係ご当局及び町議会を始め、学区地元のご支援と絶大なご協力により、ここに完成するに至りました。

この建築は、四十三年度から二カ年の継続事業として、糸魚川市落又建設株式会社・長猪又千代松殿と請負契約を結び、延べ三二二七平方メートルのご覧のような立派な校舎を建築されました。これに、設計者の直江津市山崎建築設計事務所の斬新な設計と監理、請負者の旺盛な責任感と優秀な技術によるものであり、茲に深く感謝の意を表する次第であります。

発行所 松代町公民館 (館長 高沢清次) 電話 松代1番 印刷 松代印刷所

教育の本質は、校舎の外観設備がどうであるかによるのではなくその内容に充実したものがなければならぬと存じます。即ち、いかに教え、いかに学んで教育の精神をつかむかにあると思えます。先生方と児童の心が一つの目的に向って統一されてはじめてこれが達成されると思っております。

以上、本日の落成に当り、一言感謝のことばを申し上げます。



謝辞

教育長 高沢清次

本日大勢のお客の御来賓をお迎えして、本校の新築落成式をこのように盛大に挙げていただきましたことは、誠に有難き幸せで心から御礼申し上げます。

さて本校は明治六年学制が発布されるや、その年十二月、早くも賑々の声をあげたのであります。その後星移り、月更替して九十五年校基は益々振起されてきました。遺憾ながら校舎は著しく老朽毀損して名門校の名にふさわしからぬものとなりました。

薄御支援のもとに、柳前、秋山現阿町長殿を始め、議会議員諸氏、その他地元元民各位の御努力によって一億一千七百万円という、本町としては未曾有の大事業が着工の運びとなりました。そして昨年度は本校舎、本年度は屋体の工事が建築委員方の御監督のもとに、落又建設を始め工事関係の皆様方から献身的にお働き願ってこゝに芽出たく竣工式を迎えることが出来たのであります。誠に有難うございました。

本校は数回県下の優良校として県教育委員会表彰を受けました上に、現在文部省のへき地研究指定校になっております。今やその名声にふさわしく、堂々たる近代校舎となり充実された設備を持つことになりました。そこで本校に学ばない児童の皆さんに一言申述べて見たいと思っております。

皆さん方は長い間、運動場もないところで不自由を忍んでよく勉強をされたのですが、どうして立派に校舎が出来た上、さぞかし嬉しいことでしょうか。このように立派な学校は新潟県下にもありません。皆さんはよく町の力があります。皆さん方を誇りとして立派な校舎に負けないように一段と勉強に励んで下さるようお願いいたします。

尚本校の先生方には二年の長きにわたっての工事中色々お困りの事が数々あられたと思えます。それにもかゝらず子供達の学力も落さず一人の災害事故も出さず、よくお世話下さいました誠に有難うございました。お陰様で立派な校舎が出来上りましたが、新規の施設整備をよく活用されることはまた想像以上に御苦労あることと思われまふ。どうぞ校長先生を中心によく御協力下さいまして、内容、外観、名実共に名門校としての伝統を維持発展させて下さいませ。より心から御願ひ申し上げます。

教育は百年の大計と申しますがこの地域将来の発展の象徴である本校が皆様方の御協力の結晶として竣工しましたことは誠に感謝に堪えません。ここに心から皆様方に深く御礼申し上げます。本日の御挨拶を結ばせていただきます。

●校舎改築についての基本方針

- ①教育環境としての諸条件を具備する。
- ②永久建築と将来の展望を考慮する。
- ③冬季間の積雪対策を配慮する。
- ④校舎の合理的配置と校地の効率化を図る。
- ⑤施設面における高学年低学年分離の原則を考慮する。
- ⑥松代町の中心地としての社会教育面からも配慮する。

●特に留意した点

- 校舎の配置を工夫し、グラウンドの機能を高めるよう努力した。
- 暖房は将来を見通し、スチーム暖房とした。
- 保健管理の要となる便所、手洗いの施設については、場所を分散し、施工の点で配慮した。
- (水洗浄化式)
- 冬季の積雪対策として屋上の除雪用ゲート、体育館の屋根勾配ダスターシユートの併取出口等には特に配慮した。
- 豪雪地帯であるから冬期間の日光浴等を考え、バルコニーを設けた。
- 児童会活動を助長するため児童会室を設けた。
- 地味な環境に生活している児童に対し、校舎内外の色彩に配慮した。
- 火災警報施設と消火施設を各階の東西二ヶ所に設置した。
- 音楽室、放送室等に吸音テック、ミネラルグラスファイバー等の材料を使用して音響効果を高めた。

●主な施設の経費

- ポライー施設費 六四八万円
- リフトの施設費 七〇万円
- 給食施設費 二〇〇万円
- 放送施設費 二一〇万円
- 弱電施設費 二五万円
- パーケットの単価 四、二〇〇円
- アスタイルの単価 二、〇〇〇円
- 備品費(工事費外) 三五〇万円

松代小学校校舎平面図

